

西中町民図書館 新刊オススメ本



『藤井聡太は、こう考える』
[杉本 昌隆 著]
PHP 研究所

2023年10月、ついに藤井聡太氏が王座戦を制し、将棋界初となる八冠を達成。21歳2ヶ月で前人未到的の偉業を成し遂げました。

彼はなぜ強いのか。その理由を師匠である著者は次のように分析しています。人は誰もが好き嫌いや、得意不得意があるものだが、将棋に関して藤井は、そのような視点で相手を見ていない。純粋に将棋を楽しみ、後世に残る棋譜を残したいという思いから、平常心が保たれ、盤面に集中できているのだ。本書では、師匠目線で藤井聡太の集中力や構想力、平常心、探求心が余すところなく語られています。



『自然素材で楽しむ手仕事 & クラフト』
[農文協 編]
農山漁村文化協会

『続 窓ぎわのトットちゃん』
[黒柳 徹子 著]
講談社



『ロング・ロード 探偵・須賀大河』
[堂場 瞬一 著]
早川書房

『われら闇より天を見る』
[クリス・ウィタカー 著]
早川書房



町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

今月は、
田崎真子さん(出ヶ原)です。

紹介

①習字用紙ばさみ 2種類と文鎮

会津木綿と和紙をコラボして作成しました。
表紙はチリ入り和紙、中は無地の和紙を使用し、それぞれこんにゃくで補強しています。

文鎮は叔父が昔(55年前くらい?)、中学の授業で作成したものに、和紙を張ってリメイクしました。

②和紙のイヤリング

柿渋で染めた和紙や、チリ入り和紙で作りました。

③和紙のしおり

野菜の絵を描いてみました。

自分が使いたいと思ったものを和紙で作ることができて大満足です!



自分を信じ、
仲間を信じて、
つなぐタスキ!

ふくしま駅伝 第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会

白河カタルスポーツパークをスタートし、福島県庁までの96.3キロメートル、16区間を一本の襷でつなぐ第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会「ふくしま駅伝」が11月19日に開催されました。市町村混合チーム「希望ふくしま」や今年採用になった8区をスタートとする全9区間でのオープン参加を合わせた県内59市町村53チームが出場し、西会津町チームは総合順位42位でゴールしました。



本町チームは7月から練習を重ねていましたが、選手が集まらず、一時はオープン参加での出場もやむを得ない状況でした。しかし、過去に出場経験のある選手や中距離走を専門にする選手の協力を得て、16区間フル出場での参加ができませんでした。
1区は昨年に引き続き抜擢された伊藤妃杏選手が先頭集団につく果敢な走りを見せ、2区の清野樹選手に襷をつなぎました。7区・長谷沼伶皇選手が区間27位、8区・築田海斗選手が区間26位で前半を終え、後半は10区、エース区

間の伊藤亜久里選手が区間25位、12区・二木蒼太選手が区間24位、15区・三留夕都利選手が区間23位と奮闘し、アンカー・薄上南平選手が総合順位42位でゴールしました。
解団式に出席した選手やサポーターたちは、「また走りたい」「今度は選手になりたい」と話し、今回の課題を見つめ、いい成績を残したいという気持ちを来年度につなぐ大会になりました。



- 襷つないだランナー [敬称略]
- 1区 伊藤 妃杏(会津農林高1年)
 - 2区 清野 樹(葵高2年)
 - 3区 高松 翔和(喜多方桐桜高1年)
 - 4区 高野 駿(喜多方高3年)
 - 5区 岩原 遥音(喜多方桐桜高3年)
 - 6区 鈴木 俊哲(長浜バイオ高1年)
 - 7区 長谷沼伶皇(西会津中2年)
 - 8区 築田 海斗(西会津中2年)
 - 9区 三留 翠莉(西会津中1年)
 - 10区 伊藤亜久里(東テニール津松寮所)
 - 11区 築田まりな(西会津中3年)
 - 12区 二木 蒼太(山形東高2年)
 - 13区 横山 翔大(テニール津松寮所)
 - 14区 雅楽川隼人(町振興公社)
 - 15区 三留夕都利(西会津中3年)
 - 16区 薄上 南平(バートルクロスランジ)